



学校行事から

★★ これまでを振り返る ～各種講話から～ ★★★

4月から7月を振り返ってみると、いろいろなテーマの講話がありました。5月17日(金)はスクールカウンセラーの伊藤紀子先生による「心の授業」でした。5月31日(金)の「交通安全教室」は佐賀北警察署交通課奈良崎将史氏から、事故に巻き込まれないための心構えや事故に遭遇した時の対処について話を聴きました。6月18日(火)の「薬物乱用防止教室」では同じく佐賀北警察署の生活安全課から篠原彩氏に来ていただき、ちょっとした心の隙間に忍び込む薬物の恐ろしさの話から、薬物使用の防止には健全な判断と行動が大切なことを学びました。6月21日(金)は前号で紹介した進路講演会「道を拓く」でした。ビデオ出演を含め4人の卒業生から、高校時代にやっておくべきことなどの話を聞きました。皆さんからの質問にも丁寧に答えていただきたいへん参考になりました。



「心の授業」：みんな真剣に話を聞いています。



「道を拓く」：先輩の話を一生涯懸命メモしています。

直近の2つの講話については感想を紹介しましょう。6月28日(金)は「性に関する講演会」として、千住英正氏に『産まれてきてくれてありがとう』という演題で講話いただきました。産まれてわずか3日目で生を終えた愛心(まな)さんを授かったときからの思いを話してくださいました。感想の中には「当り前のことが幸福なことだということを感じた。」とか「これから一日一日を大切に過ごしていきたい」といった感想が多く見られました。

7月12日(金)の「防犯教室」では佐賀北警察署の生活安全課係長寶泉正美氏から、SNSに潜む危険性について話を聴きました。「SNSはよく利用する」「SNSは便利」な反面、「十分注意しないと犯罪の被害者にも加害者にもなる」「使い方を誤らないようにしたい」「自分は大丈夫と思わない」などの感想があり、問題点も理解できたようです。

「自分を大切にすること」「相手を尊重し思いやる」こと、「社会のルールやマナーを守る」ことなどは、この先、豊かな人生や充実した社会生活を送る上でとても重要です。学校で企画されている講話は、そのために具体的に何をすべきかといったことに気づき、動き出すきっかけをつくってくれます。あとは皆さんが、講話で得たものを糧に実際に行動することです。

さて、夏季休業前閉講式を迎え、これから、夏季休業に入ります。まずは三者面談でこれまでの学習や生活の状況についてしっかり振り返り、その反省を踏まえて、夏季休業中の生活を充実させるため目標や方策を立てましょう。皆さんにとって、この夏が有意義なものになるよう祈っています。





自然災害から考えること ★★★★★

—昨年、北部九州豪雨、昨年は西日本豪雨。今年は九州南部や南西諸島で豪雨災害が発生しています。また近年、地震などの被害も発生しています。昨年、豪雨の被災地を通る機会があり、その爪痕を見て改めて被害の甚大さを知りました。犠牲者の方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

災害に絶対に遭わないという保障はありません。そこで防災です。防災には自助・共助・公助といった順序性があります。まずは「自助」。自分の生命や安全を最優先に確保することです。豪雨や地震などによる広域な災害の場合、「公助」つまり政府や地方公共団体（市町）の機能がストップする場合があります。だから「共助」つまり共に助け合うことが大切です。東北大震災の時、被災地で略奪が多発せず、被災した人たちやボランティアによって自然に復興への動きが始まったことは、世界から賞賛を受けました。アメリカのある教育学者は、これは日本の学校教育の成果だといいます。「掃除、給食当番、クラスの係活動など他国では見られない活動が、困難な状況下でも自ら役割を見出して動く『共助』の精神を育てた」と。普通の学校生活の中にも防災への意識づけとして大切なことがあります。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

某テレビ局の大河ドラマ「いだてん」。視聴率が低く話題になっているが、私としてはとても面白い。前々回の人見絹江（ひとみ きぬえ：日本人女性初の五輪メダリスト、陸上 800m銀）さんの話などは涙なくして見れなかった。「女はおとなしく」という世間の風当たりや偏見と闘いつつ、日本女子スポーツ界の草分けとなった人だ。

ところで、このような偏見や差別は意外に最近まで残っていた。20年ほど前、私が授業を担当した女子生徒のKさん。彼女は体力にとっても自信をもって、入学して間もないころから土木作業員になりたいという希望をもって、しかし、当時の求人票には（男子・女子・不問）という欄があって、企業側が業種によって採用者の性別を決めていた。当然、土木作業員の求人票にはいくら探しても「女子」に○が付いているものはなく、彼女の願いは叶えられそうになかった。しかし1999年4月。採用段階での男女差別を厳しく禁止する改正男女雇用機会均等法が施行され、求人票から（男子・女子・不問）の欄が消えた。彼女が高校3年生の時。見事に土木作業員として採用された彼女の笑顔は、今でも思い出深い。（智）



今後の予定(7月下旬～9月初旬) ****

《7月》

22日（月）～7月26日（金）三者面談・夏季補習

22日（月）～7月24日（水）卒業予定者登校日

27日（土）～8月1日（木）「2019 さが総文（全国高等学校総合文化祭）」

29日（月）～8月9日（金）職場（アルバイト先）訪問



《8月》

5日（月）～8月中旬 全国定時制通信制体育大会〔東京都他〕

9日（金）原爆慰霊祭

13日（火）～20日（火）学校閉庁日

21日（水）～23日（水）卒業予定者登校日

27日（火）夏季休業明け開講式

30日（金）HR活動「佐賀を知る授業〔有田焼：中村清吾氏〕」



給食室の七夕飾り

《9月》

3日（火）校内生活体験発表会

5日（木）就職心募書類提出開始

※「鯉の門だより（カラー版）」は学校HPまたは学習者用PCでダウンロードできます。